

RAID 構成について

■RAID 構成と総ディスク容量 (目安)

フリーセクションで選択できる RAID 構成と実装スロット		ディスク台数	(●=稼働、☆=ホットスペア)							ディスク種別による総ディスク容量 (目安 ホットスペアは除く)			
			0	1	2	3	4	5	6	7	NVMe SSD 960GB	NVMe SSD 3.8TB	
RAID 構成/ ディスク台数	シングルディスク (RAID0)	1台	●									960GB	3.8TB
	RAID 1	2台	●	●								960GB	3.8TB
	RAID 1+ ホットスペア	2台 + 1台	●	●	☆							960GB	3.8TB
	RAID 5	3台	●	●	●							1,920GB (1.92TB)	7.6TB
	RAID 5+ ホットスペア	3台 + 1台	●	●	●	☆						1,920GB (1.92TB)	7.6TB
	RAID 5	4台	●	●	●	●						2,880GB (2.88TB)	11.4TB
	RAID 5	8台	●	●	●	●	●	●	●	●		6,720GB (6.72TB)	26.6TB
	RAID 10	4台	●	●	●	●						1,920GB (1.92TB)	7.6TB
	RAID 10	8台	●	●	●	●	●	●	●	●		3,840GB (3.84TB)	15.2TB

◎ホットスペアとは

RAID で構成された論理ドライブ配下のディスクドライブに障害が発生した場合に、代わりに使用できるように用意された予備のディスクドライブです。ディスクドライブの障害を検出すると、障害を検出したディスクドライブを切り離し、ホットスペアを使用してリビルドを実行します。

■RAID レベルの特長

各 RAID レベルの特長は下表の通りです。

レベル	機能	冗長性	特長
RAID 0	ストライピング	なし	データ読み書きが最も高速、容量が最大 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × 台数
RAID 1	ミラーリング	あり	ディスクドライブが 2 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量
RAID 5	データおよび冗長データのストライピング	あり	ディスクドライブが 3 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × (台数-1)
RAID 10	RAID 1 のスパン	あり	ディスクドライブが 4 台必要 容量 = ディスクドライブ 1 台の容量 × (台数÷2)